

後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌 Vol.53

発行/札幌大学後援会事務局 発行日/2019年10月30日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) http://blg.sapporo-u.ac.jp/koenkai

「令和元年度 札幌大学後援会総会と保護者懇談会を開催！」 新時代を迎え、後援会も 新たなスタートを切りました！

平成から令和へと元号が変わった今春。新時代を迎えた後援会は、今年も6月1日(土)の「後援会総会」の開催を期にスタートしました。大学と後援会の共催による「保護者懇談会」も同日に開催され、お子様の学生生活や修学状況について、アドバイザー教員から保護者の皆さまへ詳しい説明が行われました。後援会は今後も大学と保護者の皆さまを結び、学生を力強くサポートしていく所存であり、今号ではその第一報をお届けします。

平成30年度の事業報告と 令和元年度の事業計画を発表、 「後援会」も新時代を迎えました。

日時/令和元年6月1日(土) 11時
会場/札幌大学2204教室

「学生生活をサポートする 数々の支援事業を継続展開！」

平成元年に発足した後援会ですが、時代は移り変わって令和となり、新元号のもと、初の総会開催に至りました。保護者の皆さまの関心も高まるなか、先ず平成30年度の活動報告がなされ、続いて決算報告および監査報告が行われました。これに対し、ご出席の保護者の皆さまから満場一致でご承認をいただきました。



猪狩会長(右)から鈴木学長(左)に奨学金目録を贈呈

その後さっそく、令和元年度事業計画(案)と収支予算(案)を発表。新たに設定した学生ボランティア対応費、ベネッセキャリア適性検査の奨励金



後援会総会の様子

査の奨励金を加え、課外活動や奨学金、研修会および資格取得奨励奨励金などの継続事業についてご承認をいただき、後援会も新たなスタートを切りました。これらの事業について、来年度の総会でその成果をご報告したいと思っております。多くの保護者の皆さまのご出席をお待ちしています。

「奨励金を大学に贈呈しました」

総会にご承認いただいた令和元年度事業計画にもつき奨励金を大学側へ贈る「贈呈式」を、猪狩哲夫後援会会長から鈴木淳二学長へ奨励金の目録を贈呈しました。目録を受け取った鈴木学長は、御礼の挨拶で「学生の修学、生活、就職を支援するため、有意義に活用させていただきます」と述べ、盛大な拍手とともに贈呈式は無事終了しました。

「学生の修学状況と、気になる就職状況について、詳しい説明を実施」

日時/令和元年6月1日(土) 13時
会場/札幌大学プレアホール(2301号館3階)

後援会総会と同日、札幌大学プレアホールにおいて、保護者懇談会が開催されました。鈴木学長、猪狩会長の挨拶に続き、瀧元副学長から「大学の新たな教育方針と学生生活について」説明がありました。引き続き、「就職状況」に関するご報告。これは、保護者の皆さまがもっとも関心を寄せる分野だけに、詳しい説明と対応策が話し合われました。小山副学長より、来年度以降の傾向と対策が発表され、お子様がキャリアサポートセンターを有効利用するよう促していただきましたことや、保護者の皆さまにこれからの就職事情につ

CONTENTS

- 1面
札幌大学後援会総会
保護者懇談会
保護者の声
後援会から
- 2面
ゼミ紹介-瀧元ゼミ
表彰
文化系サークル補助金交付式
- 3面
第52回大学祭・第44回文連祭
就職状況
- 4面
平成30年度事業活動及び
令和元年度事業計画

参加された保護者の声

■全体説明の内容について

- ・学生の就職活動の話が参考になりました。
- ・聞きたい、気になっていた事が資料に書かれていたので理解できました。プラス説明もあったので大変理解が進みました。
- ・4年生の学生のお話が大変興味深かったです。実体験の説明だったので3年後の姿を知ることができ、有意義でした。

■個別懇談での説明・対応について

- ・むすめの成績がわかりよかったです。
- ・とてもとても良かったです。わかりやすく説明して頂き感謝!!
- ・不明な点など親身に回答して頂きました。出席して本当に良かったです。
- ・大学内での様子がわかるので助かります。

いてご理解いただくことで、学生、大学、保護者が一丸となって未来を切り開いていくことを呼びかけました。続いて、「札幌大学トピックス」。このコーナーは札幌大学の近況を学生たちが報告するというもので、今回は「私の学生生活」と題して、地域創生専攻4年生の大川純佳さんからレポートがありました。札幌大学ユニセフネットワーク(札大UNET)に所属し、世界中の子どもたちのために街頭募金活動を行ったこと、さらに「札幌大学の魅力を高校生に伝える」ことを目的に組織されたSUIKIPスタッフの一員となり、オープンキャンパスに参加した高校生をおもてなしした活動が報告されました。こうした経験を経て大川さんは、募金していただいた方々、オープンキャンパスに参加した高校生から「ありがとう」の言葉をいただき、大変感激したと述べています。また、普段の学生生活では経験できない、企業・団体、地域住民の皆さまと交流する機会を得て、コミュニケーション能力を養うことができた、その成果を発表しました。



保護者懇談会の様子

その後、大学進学を検討しているお子さまを持つ保護者の方々とのお話や、本学で学んでいる学生の保護者の方々とのお話の場を設け、熱心な話し合いが行われました。

後援会から

本年度の第1回目となる保護者懇談会を6月1日(土)、本学プレアホールを会場に開催し、108組(152人)の保護者の方々にご参加いただきました。冒頭の全体説明における猪狩会長の挨拶をご紹介します。

本日は大変お忙しいなか保護者懇談会にご出席いただきましてありがとうございます。

また日頃より後援会の活動にご理解・ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は元号が平成から令和に変わって初めての保護者懇談会になります。

先ほど後援会の総会で昨年度の決算報告及び今年度の事業計画が承認されましたことをご報告させていただきます。

札幌大学の後援会は平成元年に設立されました。この保護者懇談会は平成18年度に保護者の皆様と大学との相互理解をより一層深めるために設立され後援会の大きな柱となっております。札幌会場を皮切りに釧路・帯広・北見・旭川・苫小牧・函館・青森で行っています。大学が現在行っている「教育」や「進路指導の取り組み」など教職員の方々が直接皆様にお話をさせていただき、又皆様方からも大学へのご意見・ご要望をお聞きしてそれを反映させていく貴重な機会と捉えています。何卒忌憚らないご意見をお願いいたします。

また後援会は学生への「支援事業」として「札幌大学奨学金制度」「学外研修奨励金制度」「資格取得等奨励金制度」への資金援助や「課外活動における全国大会出場時の遠征費補助」や「大学祭・文連祭への援助」などを行っています。これらの活動は年2回「後援会だより」を発行して皆様にお伝えしています。

皆様ご承知のように大学を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。大学も改善・改革のスピードを上げています。特に中長期構想「みらいフロンティアプラン」を掲げ時代にあった教育の質の向上や専攻の見直し等を行い、社会にお役立ちできる人材養成に注力しています。そして今までの経験を活かした札幌大学オリジナル教育などを教職員全員参加で取り組んでいるところであります。重ねてご支援・ご協力をお願いするものであります。

後援会としては、お子様が勉学や課外活動等を通じて充実した大学生活を過ごし立派に社会に巣立っていきますように、また保護者の皆様もお子様を札幌大学に進学させて本当に良かったとご満足いただけますようにこれからも大学と一緒に一歩一歩進んでまいります。

最後に皆様のご健康・ご多幸を心からお祈り申し上げます。

本日はご出席ありがとうございました。

札幌大学後援会 会長 猪狩哲夫



ゼミの様子



瀧元先生を囲んで



ゼミの様子



東京オリンピック・パラリンピックを 目前に控え、スポーツを 文化的、社会的側面から「学ぶ」ゼミ。

スポーツは今や、人間社会に欠くことのできない営みとして、私たちの生活に密着したものとなっています。例えば人気の野球とサッカー。熱心なファンを集める相撲やゴルフ。さらにバレーボールやラグビーのワールドカップ開催も相次ぎ、来年には「東京オリンピック・パラリンピック」といったメカスポーツイベントが控えています。こうした「みる」から「みる」へ、スポーツの多様化が進むなか、本学にはスポーツを文化として、また、学問の「ジャンル」として捉え、学べるゼミがあります。今回は、そんな瀧元先生のゼミナールIIに伺いました。

実技重視ではなく、文化的側面、社会的側面からスポーツを学ぶ。

本ゼミの特長は、スポーツを学問として捉え、学んでいる点にあり、これによって他大学との差別化が図られています。一般的に教育機関におけるスポーツは実技に特化されており、学生は選手として、職員は指導者として携わるケースがほとんどとなっています。しかし、本学は文化系の総合大学であることからスポーツ文化専攻を設け、文化的側面と社会的側面といった、他とは異なるアプローチで学ぶことの重要性を説いています。総勢36名のゼミには、将来、さまざまな職種を志す学生が集っていますが、最も多いのは、やはり保健体育の教員志望者です。瀧元先生は、「実際に保健体育の教員になった時、何らかのスポーツに打ち込んだ学生は実技の指導は可能だと思いますが、いわゆる体育そのものの知識は追いついていません。たとえば、ワールドカップの日本開催で盛り上がるラグビーについて。なぜ、イギリス代表はイングランド、スコットランド、アイルランド、ウェールズに分かれているのかという社会的背景を質問されても答えられない。また、ベースボールはなぜ、日本では野球という和名で通っているのかという歴史的背景も分からない」というのは、体育教師として問題です」と憂慮しています。さらに、「よく言われていることですが、体育の授業で、運動神経の良い子は人気者になって、そうではない子は、つまらないと感じながら過ごしています。これも実技偏重によるもの

文章を読む説く力と作成能力、さらに歴史も学び、卒論の完成へ。

大学は教育機関であるとともに研究機関でもあることを踏まえ、本ゼミではスポーツが社会に与える影響、また、歴史的背景、心身のあり方など、スポーツをさまざまな角度から研究し学んだことを、次の世代に伝えてほしいと考えています。そのため、最初の1年は基礎として文章の読解力、作成力を養う一方、古代から近代まで、スポーツの歴史を学んでいきます。3年生では興味を抱いた分野を絞り込み、各自のテーマを設定していきます。そして4年次は、これまで学んだすべてを卒業論文にまとめるという、段階的に成長可能なプログラムが組まれています。実際、本ゼミを履修している馬場佑人さん(スポーツ文化専攻2年生)は、「将来、保健体育の教諭を目指しています。特定の競技を学び、極めるのではなく、さまざまな角度から保健体育をしっかりと教えられる教師になりたい」と思い、それが実現できる瀧元先生のゼミを選びました」と、志望理由を語ります。同じく履修生の新田彩さん(スポーツ文化専攻2年生)は、「私がこのゼミを選択したのは、学生一人ひとりに対し、親身になって相談ののってくれる瀧元先生のもとで学び

たいと思ったことが一つ。もう一つは、特に体育系の部活をやっているわけではない私ですが、スポーツ全般を幅広く学びたいと思ったことが履修の理由です」と、本ゼミの主旨を理解したうえで、週1回の学びに励んでいます。

スポーツを窓として、地域社会、国際社会へ広がる価値観を養成。

東京オリンピック・パラリンピックの開催が目前に迫るなか、今、世界的規模でスポーツへの関心が高まっています。これについて瀧元先生は、「世界同時生中継を実現しているのは、スポーツだけでしょう。他のイベントでは例がありません。スポーツは言葉や宗教、政治を超えた世界共通の文化と言えるでしょう。だからこそ学生には、これを契機に心の窓を開き、国際社会に目を向けてほしいと言います。それだけに本ゼミでは、保健体育教諭を目指す学生にも、「スポーツを通してコミュニケーション能力を養い、地域社会、国際社会で活躍できる視野と価値観を有した人材になってもらいたい」と、今後の抱負を述べていただきました。



ゼミナールII 瀧元 誠樹 先生

木元聖大さんを表彰!! 世界選手権モーグルの2種目で、 見事「銀」メダル!!



今年3月、イタリアで開催されたフリースタイルスキージュニア世界選手権において、本学1年生の木元聖大(きもとまさひろ)さんがモーグル競技2種目に出場。見事、銀メダルを獲得しました。木元さんがエントリーしたのは、一人ずつ滑るモーグルと二人同時に滑るデュアルモーグル。2つ同時の銀メダルという栄誉を讃え、猪狩会長から賞状と金一封を授与しました。これは、後援会事業の一つである表彰制度によるもので、国際大会、全国大会およびこれに準ずる大会などにおいて優秀な成績を収めた団体ならびに個人、さらには社会的善行を行った団体および個人に対し、その功績を讃え、表彰するという制度となっています。木元さんは2020年4月から全日本スキー連盟(SAJ)のナショナルチーム入りが決まっております、22年の北京五輪への出場はもちろん、大舞台での活躍が期待されています。

6サークルへ補助金を交付! 文化連合会所属サークルを支援する 補助金交付式を挙行政。

日時/令和元年6月25日(火) 会場/7407特別演習室



体育会系にも負けない活発な活動を展開している「文化連合会所属サークル」に対し、後援会では補助金を交付し、文化活動をしっかりと応援しています。交付式は去る6月25日に行われ、猪狩会長から各サークルの代表者一人ひとりに補助金の目録が手渡されました。交付後、猪狩会長から「反省はしても、後悔はしない人生を歩んでほしい。後悔しない秘訣は、なににも生懸命に取り組むこと。精一杯やった末の結果なら、どんな結果であろうとも納得できるはず」と、激励の言葉がありました。

その後、各サークルの代表者から日頃の活動報告と今後の活動計画や補助金の使途が発表されました。後援会では補助金



- 交付6サークル
- 民俗音楽研究部
- アピロッド音楽研究部
- アマチヲ無線部
- 映画研究会
- 軽音楽部
- 演劇研究会
- 劇団タイナマイト

1日のみの開催でも二層盛り上がりを見せた 第52回大学祭・文連祭！ 実行委員3人にインタビュー

学内だけでなく、地域を活性化するイベントとなった札幌大学大学祭・文連祭。今年は雷雨により初日の6月22日(土)が中止となり、翌6月23日(日)のみの開催となりました。これにより、プログラムを急遽変更。その結果、翌23日(日)は待ちに待った多くの来場者が詰めかけ、例年以上の盛り上がりを見せました。そこで今回は、アクシデントにも負けず奮闘した実行委員3名を迎え、その舞台裏のエピソードをお聞きしました。

●テーマは星を意味する「アスター」

Q 辻さんは、昨年度もいちスタッフとして参加されていましたが、今年は実行委員長ということになって、プレッシャーはありましたか？

辻 やはりありましたね。14人の委員のほかに、各サークルから代表で入った実行委員として参加してもらっていますので、多くの人をまとめなければならず、そこが難しいところでした。私は自分で出来ることは、皆に知らせる前に人でもとんとんやっつけてしまおうというので、まとめ役という役割を果たせなかったのではと反省しています。

●今年のテーマは「アスター」

松浦 今年のテーマは「アスター」です。これはギリシア語で星を意味しています。星は二つで輝くよりも、多数集まって輝くことで、より煌めきを増やすことから、私たち札幌大学の学生も多くの力を結集して、このイベントを成功させようという願いを込めています。また、「アスター」にはもっつ、エツギクという意味もあります。北海道特有の花を咲かせようという思いも込めており、私の発案だったんですが、ダブルミーニングで、この言葉を選びました。



左から金澤さん、辻さん、松浦さん

●雨天中止のアクシデントに

Q 今年は何と言っても、1日目が激しい雷雨により中止というアクシデントがありましたね。

金澤 私のスマホの天気予報のアプリがよく当たっているんですよ。それで当日は雨だとわかっていましたので、中止を宣言しました。安全第一ということだったので、翌23日が晴れることもアプリによって確認し

ており、切り替えその日に集中しました。

辻 中止が決まった土曜の夜は、みんな話して合つて翌日のプログラムを変更しました。私としては前例がないことだったので、うまくいくのかハラハラドキドキでしたね。経験豊富な4年生の方にサポートしていただきました。

金澤 1日だけの開催となりましたが、ゲストを招いて行うプログラムはなんと実現しました。時間も変更できないので、やりくりが大変でした。また、カラオケ大会やビンゴゲームについても景品を用意していただきましたので、これもやり遂げました。

Q 今年は多彩なゲストでバラエティ豊かな内容になりましたね。

松浦 お笑い芸人さん、アイドル、男女混合のダンスユニットなど、多彩なジャンルから来ていただいたので、観客も幅広くなりました。これは今年の特長だと思えます。

Q もっとも印象に残っていることはなんですか？

辻 委員長という立場なので、すべてのプログラムが気になっていました。どれか一つに集中する



のではなく、全体を俯瞰して見ていた感じでした。どのプログラムも観客の笑顔が見られたので、良かったですね。

松浦 私は日頃テレビで視ている有名人と同じステージに立ち、MCとして進行役を務めることができて、とても嬉しかったですね。

金澤 私は4年間にわたって実行委員を務めてきましたが、本当に波瀾万丈の4年間で、1年生の時に大学祭と文連祭が同時開催となり、2年生の時には創立50周年で、記念すべき50回目の大学祭を迎えました。3年生で委員長を経験、そして4年生で雨により中止という前例のない経験をしました。

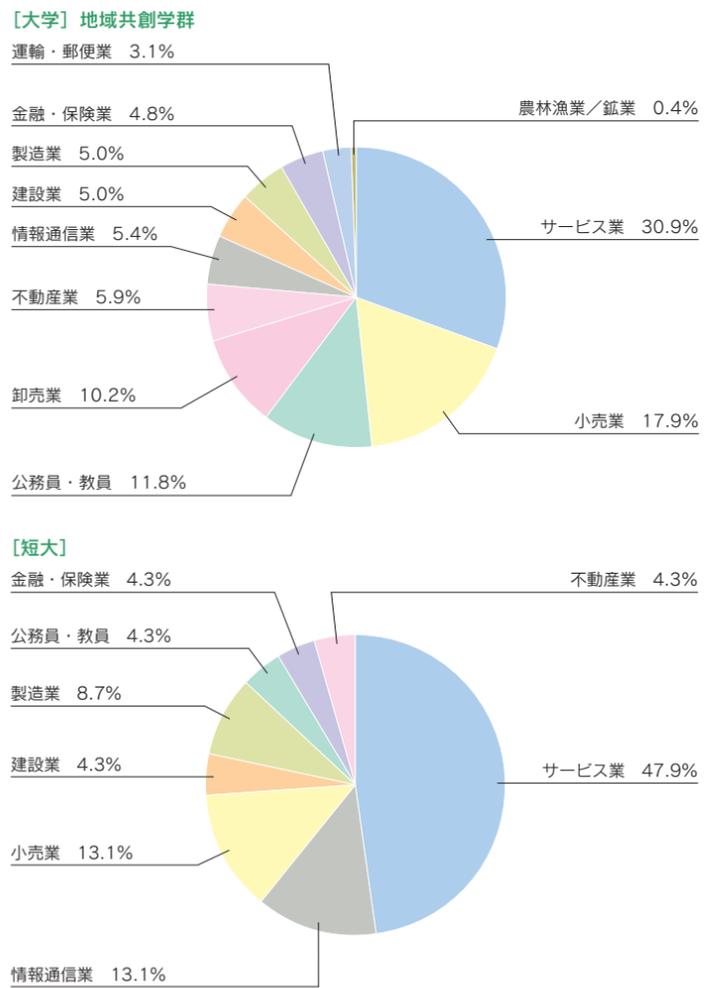
Q 実行委員を経験して学んだことはありますか。

辻 私は本当にリーダーというタイプではなく、個で活動してしまう人間なので、ほかのメンバーに支えてもらったという印象です。それでも、プレッシャーを克服して大学祭を成功させたことは大きな自信になったことは言うまでもありません。この経験を活かし、来年は後輩にとって頼れるサポーターになりたいと思っています。

金澤 今年で最後の参加となりましたが、自分たちの代には我々なりのカラーがあったように、後輩にも自分たちなりのカラーを打ち出して、今までもない大学祭を演出してほしいですね。

松浦 来年は自分たちが主となって開催する大学祭ですから、金澤先輩の言うとおり、これまでの良い部分を活かして、自分たちなりのカラーを出して盛り上げていきたいですね。後援会様からも補助金をいただいております。保護者の皆様の期待にも応えたいと思っています。今年委員長を務めた辻先輩のサポートをいただきましたが、次の代に良いバトンを渡すことも大切な役目だと思っています。本日はありがとうございました。

■業種別就職比率 (平成31年度3月31日現在)



ここ数年は、売り手市場や人手不足などで就職活動する学生にとっては追い風環境ですが、入社後は向かい風になる場合が考えられます。勤務地や福利厚生などの条件以上に、企業研究を深めた企業であれば、予測不可能な労働環境や経済状況においても、自ら選択した進路に自信が持てるでしょう。

保護者の皆さまがこれらの就職事情を理解するだけでも、学生本人も安心して行動に移すことができると考えます。最新の情報は、学内就職講座や個人面接を通して学生に提供していきますので、学内開催の就職イベントを十分に活用しようご案内いたしますようお願いいたします。

■求人件数

	道内企業	道外企業	合計
大 学	943	1,479	2,422
女子短期大学部	576	696	1,272
合 計	1,519	2,175	3,694

■就職決定状況

今春、本学を卒業し就職を希望した学生の就職率は、4年連続90%を超えました。そのうち勤務予定地が北海道内の学生は約80%おり、地元志向の高さが伺われました。ここ数年の特徴は、転勤を伴う企業を避ける学生が増加した結果、地域限定職(勤務地を限定し、転居を伴う異動が発令されない)採用が目立っております。その反面、勤務地にこだわりすぎてしまい就活長期化で疲弊し、内定に繋がらず、そのまま卒業していく学生もおりました。

昨年、日本経済団体連合会による「採用選考に関する指針」の廃止方針等があり、これからの就職環境に変化を与えると推測されます。変化に呼応するかのよう、一括採用、通年採用などのキーワードが紙面を賑わしています。選考方法も面接以外にグループワーク、グループディスカッション、AI選考など多様化し、親世代と異なる就職環境です。今年度の就職講座に1年生の参加者も目立つ状況から、就職活動を始める前から不安を抱えている様子です。

■就職決定状況(大学)

区分	卒業生	就職希望者	就職内定者	就職決定率	進学者数	非就職者	不明者
地域共創学群	566	478	459	96.0%	13	93	1

■就職決定状況(女子短期大学部)

区分	卒業生	就職希望者	就職内定者	就職決定率	進学者数	非就職者	不明
キャリアデザイン	31	26	23	88.5%	3	5	0

注1: 就職希望者とは、a 就職が決定した者、b 就職を希望し、集計時(平成31年3月31日現在)においては受験準備等であるが、就職の意志のある者をいう。
 注2: 就職決定率とは、就職内定者数を就職希望者数で割ったものをいう。
 注3: 進学者とは、大学院、大学、短大、専修学校、外国の学校等に入学した者をいう。
 注4: 非就職者とは、帰国、アルバイト、家事手伝い等の者をいう。

■平成31年3月卒業生の主な就職先

■大学 ANA新千歳空港/北海道セキスイハイム/六花亭製菓/伊藤園/北海道コカ・コーラボトリング/ソフトバンク/マイナビ/北海道旅客鉄道/エア・ウォーター物流/ANA関西空港/日本通運/サントリービバレッジサービス/北海道エア・ウォーター/渡辺パイプ/リコージャパン/スズケン/ほくやく/札幌丸井三越/マックスバリュ北海道/ホクレン商事/東急百貨店/イオン北海道/青山商事/東光ストア/トヨタカローラ札幌/北海道日産自動車/いちたかガスワン/サンドラッグプラス/オルビス/ムラタ/サッポロドラッグストア/ツルハ/北海道銀行/北洋銀行/日本生命保険 相互会社/常口アトム/北海道空港/アインホールディングス/マーキュリー/野口観光/セルリアンタワー東急ホテル/アイヌ民族博物館/日本郵便/ホクレン/JALスカイ札幌/羽田エアポートエンタープライズ/北海道商工会連合会/国家公務員(法務局)/地方公務員(道内市町村職員、北海道警察)/公立学校教員(中学校、高等学校、特別支援学校) ■短大 ヤシマ商会/アルピオン/日栄インテック/グロウステージ/ネクスト/KDDIエボルバ/パル/きのとや/ニッセンエンコート/中道リース/サビエント/グランビスタホテル&リゾート/はなまる/ルミエパル/シンクアクト/ダックススポーツ/さっぽろ青少年女性活動協会/日本衛生/セノン/東名/地方公務員(警視庁)

平成30年度事業活動及び令和元年度事業計画

平成30年度事業活動

(1) 会費納入状況

- ①第1種会員：2,672人、加入率 96.3%
 【大学：2,601人、加入率 96.3% 大学院：10人、加入率 83.3% 短大：61人、加入率 96.8%】
 ②第2種会員：38人
 ③第3種会員：なし

(2) 補助事業

①課外活動への補助 補助金交付団体及び補助金額は次の一覧のとおり。
 (平成31年3月末現在)

交付団体名	大会名	支出金額
空手道部	第62回全日本学生空手道選手権大会	12,000
弓道部	第66回全日本学生弓道選手権大会	234,000
	第49回全日本学生弓道遠征選手権大会	
剣道部	第66回全日本学生剣道優勝大会	120,000
	第37回全日本女子学生剣道優勝大会	108,000
硬式テニス部	全日本学生テニス選手権大会（男子86回/女子62回）	45,000
	平成30年度全日本学生室内テニス選手権大会	33,000
ゴルフ部	2018年度（第72回）日本学生ゴルフ選手権競技	15,000
サッカー部	第54回全国社会人サッカー選手権大会	162,000
	平成30年度第67回全日本大学サッカー選手権大会	300,000
女子サッカー部	第27回全日本大学女子サッカー選手権大会	288,000
	第19回大学女子サッカー地域対抗戦2019	90,000
柔道部	平成30年度全日本学生柔道優勝大会	114,000
	平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	9,000
	平成30年度全日本学生柔道体重別選手権大会	117,000
準硬式野球部	第70回全日本大学準硬式野球選手権大会	342,000
	第36回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	60,000
女子バドミントン部	第69回全日本学生バドミントン選手権大会	150,000
男女バドミントン部	第6回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会	36,000
スケート部	第91回日本学生氷上競技選手権大会	192,000
卓球部	第88回全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部	144,000
	第85回全日本学生大学総合卓球選手権大会（個人の部）	81,000
チアリーディング部	平成30年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）	9,000
	第30回全日本学生チアリーディング選手権大会	27,000
男子バレーボール部	第37回東日本バレーボール大学選手権大会	228,000
	第71回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 ミキプルーンスーパーカレッジバレー2018	189,000
ハンドボール部	平成30年度東日本学生ハンドボール選手権大会	288,000
	平成30年度全日本学生ハンドボール選手権大会	171,000
	北海道学生選抜チーム第7回欧州遠征	216,000
ラグビー部	第69回全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会	270,000
陸上競技部	第40回北日本学生陸上競技対校選手権大会	360,000
	第87回日本学生陸上競技対校選手権大会	90,000
	第34回U20日本陸上競技選手権大会	24,000
X-SPORTS部	Psa asia Pro Tour TBinc CUP プロ戦・プロアマ戦	9,000
	FISテレマックスワールドカップ・世界ジュニア選手権	33,000
	第25回全日本スキー選手権大会スノーボード競技：ハーフパイプn郡上 Freestyle Session in X-Jam 全日本スノーボード選手権 ハーフパイプ 高鷲スーパーパイプセッション	18,000
	Freestyle Session in X-Jam 第37回JSBA全日本スノーボード選手権 Washigatake Sloprstyle Session	39,000
震災ボランティア	FIS公認JSBA全日本選手権大会・FISジュネス栗駒CUP/PSA ASIA石井防水CUP	12,000
	平成30年度震災ボランティア	75,000
稲邊 雄大	厚真町震災ボランティア	51,000
	第52回宮様チャリティーボウリング大会	12,000
	第57回全日本ボウリング選手権大会	15,000
21団体	小 計	4,788,000

交付団体名	文化系サークルの主な活動内容	支出金額
アニメーション部	アニメーション作成	50,000
アビロード音楽研究部	合同ライブ	50,000
アマチュア無線部	道内のアマチュア無線家との交流	50,000
ジャズ研究会	合宿と定期演奏会	50,000
映画研究会	自主制作映画の撮影	50,000
自然保護研究会	意見交換会の記録	50,000
写真部	卒業記念写真展	50,000
文芸部	ポストカードを作成	50,000
料理同好会	地域のお祭りに参加	50,000
9団体	小 計	450,000

課外活動への補助金合計 5,238,000円

- ②札幌大学奨学金他への援助 10,000,000円
 ③札幌大学学外研修援助金 2,000,000円
 ④札幌大学資格取得等奨励援助金 1,000,000円
 ⑤入学記念品及び卒業記念品援助金 500,000円
 ⑥札幌大学大学祭・文連祭への補助金 200,000円
 ⑦学生用図書費の援助 1,000,000円
 ⑧学生表彰 0円
 ⑨卒業記念祝賀会への補助金 1,000,000円
 ⑩大学院生への援助 50,000円
 ⑪札幌大学保護者懇談会に係る旅費への補助金 623,100円
 ⑫札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブへの補助金 100,000円

補助費支出合計 21,711,100円

(3) 【保護者懇談会について】平成30年度 保護者懇談会実施

開催地	会場	開催日
札幌	①札幌大学	6月 2日 (土)
北見	③ホテルロイヤル北見	9月 1日 (土)
旭川	④アートホテル旭川	9月 2日 (日)
釧路	⑤ホテルクラウンヒルズ釧路	【中止】9月 8日 (土)
帯広	⑥ホテルグランテラス帯広	【中止】9月 9日 (日)
札幌	②札幌大学	【中止】9月15日 (土)
青森	⑦ホテルJALシティ青森	【中止】9月23日 (日)
函館	⑧ホテル法華クラブ函館	【中止】9月24日 (月)
苫小牧	⑨グランドホテルニュー王子	【中止】9月30日 (日)

9月8日(土)から9月30日(日)の地方会場の実施については、胆振東部地震の発生により、中止となりました。

(4) 【広報活動について】 「後援会だより」を10月30日、3月31日付けの年2回発行

(5) 札幌大学後援会総会 日時：平成30年6月2日(土) 場所：札幌大学 2204教室

(6) 札幌大学後援会役員会 (第1回) 日時：平成30年5月22日(火) 場所：札幌大学 第1会議室
 (第2回) 日時：平成30年6月 2日(土) 場所：札幌大学 第1会議室

保護者懇談会では就職をはじめ、さまざまなご質問やご相談にもお応えしております。地方の方は参加し易い主要都市での開催に是非ともご参加下さい。

平成30年度札幌大学後援会決算書

平成30年度収支計算書（自平成30年4月1日 至平成31年3月31日） 単位：円

科目	予算	決算額	増・減
収入の部			
前年度繰越金	60,035,395	60,035,395	0
第一種会員会費	27,750,000	26,730,000	△1,020,000
第二種会員会費	135,000	117,000	△18,000
第三種会員会費	0	0	0
利息	1,000	672	△328
基金取崩収入	0	0	0
雑収入	0	50,000	50,000
合 計	87,921,395	86,933,067	△988,328
支出の部			
基金充当金	0	0	0
補助費	22,620,000	21,711,100	△908,900
消耗品費	70,000	19,008	△50,992
旅費交通費	450,000	226,510	△223,490
印刷費	1,100,000	987,768	△112,232
通信費	900,000	788,390	△111,610
支払手数料	30,000	6,966	△23,034
会議渉外費	1,820,000	662,559	△1,157,441
予備費	200,000	0	△200,000
預り金支出	0	13,000	13,000
小 計	27,190,000	24,415,301	△2,774,699
当年度収支差額(次年度繰越金)	60,731,395	62,517,766	△200,000
合 計	87,921,395	86,933,067	△988,328

平成30年度資産（現預金）・基金内訳表（平成31年3月31日現在） 単位：円

勘定科目	前年度繰越金	3月末	増 減
《資産の部》			
現金（事務局保管）	20,709	29,798	9,089
普通預金（北海道銀行西岡）	43,689,938	46,103,513	2,413,575
普通預金（北洋銀行豊平）	16,324,748	16,384,455	59,707
基金（北海道銀行西岡）	21,000,000	21,000,000	0
基金（北洋銀行澁川）	0	0	0
資産合計	81,035,395	83,517,766	2,482,371
《基金の部》			
基金（北海道銀行西岡）	21,000,000	21,000,000	0
基金（北洋銀行澁川）	0	0	0
収支差額（次年度繰越金）	60,035,395	62,517,766	2,482,371
基金合計	81,035,395	83,517,766	2,482,371

令和元年度事業計画

札幌大学後援会では、在学生を支援の主たる対象とし、各種支援事業を令和元年度も継続してまいります。主な事業計画は次のとおりです。

- ①後援会総会の開催（後援会活動活性化の観点から保護者懇談会との同日開催）、②札幌大学との共催による保護者懇談会の開催（会議費、旅費交通費等の運営経費を補助）、③学生への経済的支援、(1) 課外活動への援助金（全国大会等へ参加する部員への遠征費補助、文化系サークルの活動費を補助）、(2) 学生ボランティア対応費の補助（災害ボランティア活動等に必要な経費を補助）、(3) 学外研修への援助金（国内外の宿泊研修、臨地研修等への参加者への資金）、(4) 資格取得・受験対策への援助金（資格取得者への援助金）、(5) ベネッセアイキャリア適正検査の援助（新規事業として補助）、(6) 札幌大学奨学金制度への援助金（成績優秀者に対する奨学金資金の援助、経済的困窮度を重視した生活支援奨学金の援助）、(7) 学生用図書費への援助金（選書ツアー用図書費の資金）、(8) 表彰 全国大会等に準ずる大会等で優秀な成績を収めた者を規程に基づき表彰する、(9) その他の援助（卒業記念祝賀会に対する援助、大学院生に対する援助、大学祭・文連祭に対する援助、入学及び卒業記念品に対する援助他）、④地域貢献活動への援助金（めえ〜ずの活動資金を補助）、⑤広報活動（『後援会だより』の発行）

令和元年度収支予算

収入の部 単位：円

科目	平成30年度決算	令和元年度予算額	増減額(決算額比)	摘要
前年度繰越金	60,035,395	62,517,766	2,482,371	
第1種会員会費	26,730,000	27,970,000	1,240,000	10,000円×2,797人=27,970,000
第2種会員会費	117,000	120,000	3,000	3,000円×40口
第3種会員会費	0	0	0	
受取利息	672	1,000	328	
基金取崩収入	0	0	0	
基金取崩収入	0	0	0	
雑収入	50,000	0	△50,000	
合 計	86,933,067	90,608,766	3,675,699	

支出の部 単位：円

科目	平成30年度決算	令和元年度予算額	増減額(決算額比)	摘要
基金充当金	0	0	0	
補助費	21,711,100	22,500,000	788,900	札幌大学奨学金援助金 課外活動補助金・卒業記念祝賀会援助金・大学院生への援助金・大学祭・文連祭に対する援助金・入学記念品及び卒業記念品援助金 学外研修援助金・資格取得等奨励援助金 学生用図書費の援助 表彰 保護者懇談会（大学分旅費） 地域貢献費（札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブ） ベネッセキャリア適正検査援助 学生ボランティア対応費
消耗品費	19,008	60,000	40,992	事務用消耗品 コピー用紙
旅費交通費	226,510	450,000	223,490	役員会、保護者懇談会（地方） 封筒作成
印刷費	987,768	1,100,000	112,232	会報作成（後援会だより） 印字 その他印刷
通信費	788,390	900,000	111,610	後援会だより発送作業・発送費2回分、会費納入案内役員会、総会案内・保護者懇談会等の案内他
支払手数料	6,966	20,000	13,034	会費納入振込手数料・業者への振込手数料
会議渉外費	662,559	1,820,000	1,157,441	役員会会議費、総会・札幌会場保護者懇談会参加者昼食費、地方会場費 祝儀等
予備費	0	200,000	200,000	
預り金支出	13,000	0	△13,000	
小 計	24,415,301	27,050,000	2,634,699	
次年度繰越金	62,517,766	63,558,766		
合 計	86,933,067	90,608,766		

編集後記

〰️暑さ寒さも彼岸まで、と言われていたとおり、季節は秋へと移り変わり、大雪山系旭岳からは冬の便りが届きました。自然界は年々勢力を増し各地に大きな被害をもたらしています。千葉県の大規模な停電は、昨年の北海道が思い出されます。また、台風19号による豪雨で甚大な被害が各地でありました。1日でも早く日常生活がとり戻せることを願っております。さて今回は令和時代になり、気になるニュースベスト5を考えてみました。
 1. 消費税増税の対応 2. あおり運転 3. 東京オリンピックの代表選手選考
 4. 自然災害 5. 教育費の無償化
 皆様はいかがでしょう？
 後援会だより53号を発行するにあたり取材のご協力ありがとうございました。
 次号は2020年3月末日を予定しております。

(M.M)